

Link

駒澤大学

Vol.11

July 2021



【特集】Special Feature

Link

こころ・まなび・つながり

【巻頭対談】

名誉教授

桑田 禮彰 × 田中 郷介

法学部 三竹直哉ゼミナール

学生サポート組織 PAOPAL

フレンチレストラン
オーナーシェフ

Link

こころ・まなび・つながり

こころを磨き、共にまなぶ。
いつしか駒澤大学をこころのよりどころとして、
それが原点になっているのだと振り返る。
会えないときがあるかもしれない、
笑い合えないときがあるかもしれない。
しかし、確かなのは
「このつながりは続いていく」ということ。
こころはずませて語らい、つながれるときを楽しみに――。

Link

Vol.11
2021.7

CONTENTS

4 **[特集] Special Feature**

Link

こころ・まなび・つながり

[巻頭対談] LINK TALK

名誉教授

桑田 禮彰

フレンチレストラン
オーナーシェフ

田中 郷介

勇気を持ってドアを叩いたから、この繋がりがある

LIVE TALK

法学部 三竹直哉ゼミナール

ワクワクのエネルギーをゼミから日本へ世界へ繋げよう

Close-up

総合情報センターの学生サポート組織

PAOPAL

14 **[研究を極める]**

総合教育研究部 スポーツ・健康科学部門 准教授

末次 美樹

長年続けた空手道が

研究テーマをもたらす

視座は人間関係や社会システムへ

16 **駒澤大学の就職力**

求人企業は13,446社、就職決定率95.3%

17 **駒大NEWS**

2020-2021

スポーツ、文化、地域社会で、
駒澤大学が活躍しているニュースを一堂に！

20 **駒澤大学高等学校NEWS**

駒澤大学附属苫小牧高等学校NEWS

22 **学長メッセージ**

各務学長による駒澤大学のビジョンと展開

表紙イラスト:大久保ナオ登

制作・発行 駒澤大学 総務部 広報課

※写真撮影時のみマスクを外しています

名誉教授
桑田 禮彰



フレンチレストラン
 オーナーシェフ
田中 郷介

外国語科目のフランス語の授業をきっかけに「心の出会いを得た」という桑田禮彰名誉教授と田中郷介さん。今も適度な距離感の繋がりを楽しむ二人に、駒澤大学での出会いや食文化に対する考え方を語っていただきました。



勇気を持ってドアを叩いたから、この繋がりがあ

フランスを知る先生の研究室を
 するような思いでノックした

桑田名誉教授(以下 桑田) 約20年

も前だけど、田中さんが初めて研究室へ来てくれた時のことを覚えています。照れながら、でも積極的でしたね。
田中シェフ(以下 田中) 1年生でしたし、めちゃくちゃ緊張してました。ノックするまで研究室の前を行ったり来たりしてました。

桑田 え、そうは見えなかったな。フランスのことを食欲に聞きたがっていいじゃない。

田中 初めて目の前に現れた。本物のフランスを知っている人が先生だったんです。外国語科目のフランス語の授業で先生は、立ち居振る舞いもまさにフランス人で、話も魅力的でカッコよかったです。そんな先生に、すごいな思いでノックしたんです。「桑田先生に聞かないとフランスへの道が開かれない！」と思って。

桑田 確か私が学生時代に初めてフランスに行った話から始めたんじゃないかな。「最初のフランスはやっぱ特別なんだよ」ってね。

田中 そうです、「全部迷すな」って

田中 持ち上げ過ぎですよ、先生。ワイン飲んでから来たんですか？

桑田 あ、ワインを一緒に飲んだこともあったね。確か大学の正門脇の洋食屋「ROMAN」(2014年閉店)で。

田中 はい、短期留学から帰国して少してしてから、長期留学へ行く前でした。先生の研究室を訪れた日がボジョレ・ヌヴォの解禁日で、「飲みに行きましよう」って誘っていただいて。生まれて初めてボジョレ・ヌヴォを飲んだ忘れられない日です。

桑田 とところで料理人に憧れていたのに、なぜ駒澤大学の法学部政治学科に入学したの？

田中 中学生の頃から料理人になりたいと思っていましたが、フランスやフレンチに関する情報が薄くて、何も知らない自分が「料理人になる」と言える自信がなかったんだと思います。高校時代に公民や歴史が好きで、そのジャンルを深く学びたいと思って政治学科を選んだのかな。

桑田 そうだったのか。でも、私もフランス哲学を専門にしているけど、大学は経済学部だったからね。

田中 そうだったんですか？

桑田 実はね。学生時代「経済学がどうも自分に合わないな…」と感じてい



明治維新时期に日本は、近代社会建設に当たり、西洋から実にさまざまなことを学んだ。それを可能にしたのが「翻訳」であり、その最大の「文明の利器」が「議論」であった。



名誉教授
桑田 禮彰 Kuwata Noriaki

専門はフランス思想・哲学。1988年より駒澤大学で教鞭を執る。2013-2017年 駒澤大学副学長・学校法人駒澤大学執行理事。著書に「議論と翻訳-明治維新时期における知的環境の構築-」(新評論刊)、著訳書「フォーコーの系譜学」(講談社刊)、「新時代人—フランス現代文化史メモワール」(新評論刊)などがある。



店名は料理人になったときから飼っていたミニチュアダックスの名前と奥様の名前の一部から。「haru」に縁がある」と笑う。



フレンチレストラン haru オーナーシェフ
田中 郷介 Tanaka Kyosuke

駒澤大学高等学校、駒澤大学 法学部政治学科 卒業。在学中にフランスへ短期と長期の2回留学をする。会社員を経て、調理師専門学校で調理技術を身に付け渡仏。留学での語学力を活かし、フランスのミツ星レストランで研修。帰国後は著名レストラン等で腕を磨き、2019年 自店「haru」をオープン。

言われました。「飛行機を降りた瞬間の匂いから、見られる限りのものを見て、目一杯フランスを吸収してきなさい」と。さらに「フランスでトラブルがあったら私に電話しなさい」と言ってくださいました。初対面の1年生にですよ、本当に嬉しかったです。

ダイバーシティが体现された場で
 多くの出会いが生まれ深められる

桑田 田中さんだけじゃないけど、そこまで積極的な学生はいつまでも記憶に残るものだよ。その中でも田中さんはピカイチだね。

名誉教授

桑田 禮彰



フレンチレストラン
 オーナーシェフ

田中 郷介

た時にジャンル「ポール・サルトル」の代表作「存在と無」に心を奪われ、「やりたいのは哲学だ」と確信してね。そして、経済学部にながら、哲学を専門的に指導してくれた恩師に出会えたことが大きかったんだと思う。

田中 先生も恩師との出会いがあったんですね。

桑田 うん、やはり大学では田中さんと私のような、「専門」を超えた出会いや繋がりが大切なんだ。その意味で駒澤大学は優れた出会いの場を学生に提供していると思う。なぜならワンキャンパスに多種多様な学部学科の学生や教員がいるからね。「専門」の枠を超えた出会いこそが、多様な問題関心が渾然一体となった力オスを作り、そこから醸成される文化的エネルギーが大学における本当のダイバーシティを生み出すんです。だから個性的な人々たちとの豊かな出会いに恵まれるわけでしょう。

田中 確かに、色々な学部の人に出会いました。



食文化の思想が料理に滲み出ている 田中さんはまさに“本物のプロ”だ

(桑田 禮彰)

田中 それは言い過ぎですよ、先生。

桑田 いや、言い過ぎじゃない。田中さんを「本物のプロだ」と感じたんだよ。それは何かって言うとね、食文化は文化の原点だから非常に大事なものなんだけど、その核を田中さんはしっかりと掴んでいる印象を受けた。それが料理に投影されているような気がして、

感動したんだよ。

先生の「おいしい」という一言
 思い描いていた夢がかなった日

桑田 それからもう一つ、個人的に駒澤大学の好きなところは人間関係がさらっとしているところ。田中さんとの繋がりもそうだけど、卒業してから20年余で10回も会っていないよね。でも今みたいに、久しぶりに会ってもたまに昔に戻れるし、深い話だってできる。この適度な距離感が駒澤大学っぽくて好きなんだ。

田中 僕もそれは同意しますし、先生とも良い距離感だと思っています。だからこそ卒業以来の再会で、4年前に先生が、当時僕が勤務していたピストロに「フラット」と来てくれた時は感激しました。

桑田 教員仲間から「桑田先生にお世話になったというシエフがいる」と聞いて。そりゃあ、食べに行かなきゃいかんでしょ。

田中 突然でびっくりしましたけど。

桑田 私もびっくりしたよ、立派な

感動したんだよ。

田中 だいぶ持ち上げられてしまいました。でも先生がおっしゃる通りで、一流を目指す料理人はみんな、食材を生み出す生産者から始まる背景とストーリーを食文化の核として捉えていると思います。生産者はゼロから1を生み出し、ものすごいエネルギーが必要なんです。だから生産者へのリスペクトは絶対欠かせない。僕たちはゼロから1を生み出すことはできないけれど、生産者の努力と成果をお客様に伝えることができると思うし、それが僕たちの責務だと思います。

桑田 その思考が料理を通して響くから、より感動するんだろうね。

田中 あ、でも情報や思考を食べてもらうわけではないので、先生が「おいしかった、楽しかったよ」って帰ってくれたら、僕にとっては100点です。

一步を踏み出すことができたから
 心の出会いは繋がっていく

桑田 さっき田中さんが私との出会いを「この道に進んだ原点」と言ってくれたんだけど、学生が求めている時にタイミング良く必要な知識や情報を提示できることが教師の大事な役目

1年生だった僕の前に颯爽と現れたのが “本物のフランスを知る”桑田先生でした

(田中 郷介)



シエフになっちゃって。

田中 僕は「いつか先生に自分の料理を食べていただきたい」という思いを持って仕事をしていました。桑田先生との出会いが、原点で、先生にきっかけをいただいた道なので、恩返しができることしたら自分が作った料理をプロとしてお出しすることだろうと。で

も、思いがけず目の前に先生が現れたので、ドラマのクライマックスのように感じましたね。「おいしい」と言ってもらえたことが、やっぱり一番嬉しかったですし、「この仕事をやっていて良かった」と思った瞬間でした。

桑田 私も感動しました。「教師冥利に尽きる」って、こういうことかなと。

だと思っていて。大好きな言葉の一つに「啐啄(そったく)の機」という禅語があってね。「啐」は卵の中の雛鳥が「外へ出たい」と内側から殻を叩くこと、「啄」は雛鳥が殻を叩く音に気づいた親鳥が、「来た！」と、殻の外側から叩くこと。親鳥と雛鳥がタイミング良く叩いて殻が破れ雛鳥が誕生するという、大事な師弟関係を表した言葉なんだ。教師は、学生が「外に出たい」という音に気付かなくてはダメだし、逆に早く殻を叩いてしまってもダメということ。

田中 僕は先生との出会いのタイミングがバッチリだった。

桑田 そう、研究室のドアをコツコツと叩いてくれたからね。実は教師としての私は、待ちの仕事なんです。だから学生には積極的にドアを叩いてほしい。

田中 同じことを先輩に言いたいです。「そんなに怖がなくていいんじゃないって。これは先生の研究室のドアをノックするかどうか迷っていた自分に言い

たかった言葉ですね。やりたいことが見つかったら、勇気を出して一步を踏み出してほしいです。

桑田 「駒澤大学は出会いの環境が整っているから、踏み出したら必ずタイミングの良い出会いが待っていますよ」というのが、実際に心の出会いに恵まれた私たちからのメッセージですね。



WE TALK



政治学科4年
齋藤 彩花 SAITO AYAKA

自分がワクワクするものから発展させて、興味のある分野を学び・深めることができるのが三竹ゼミの魅力です!

「もともとSDGsに興味がありました」と言う瀬戸口さんは「学内でSDGsの認知度が低いことが気になっていたので、これをテーマにした活動をゼミでできたらいいなと思いました」と話す。齋藤さんは「SDGsをテーマに心を弾ませながら活動したことで、マイボトルやエコバッグを持参し

たり、より節電を意識したりと、自分の身近なところからサステイナブルアクションを楽しみつつ取り入れるようになりました」と、自身の暮らし方にも変化があったと語る。

三竹准教授は「ゼミ生が体験したようなワクワクのエネルギーは人にも、生活にも伝わり繋がっていきます。こうやってみんなで話をしていくとパワーが出てくるよね。私は地球上のワ

クワクの総量を増やしたいと思ってるんですよ」とゼミ生に語りかけた。さらに「専門的な話をする、SDGsには政治が正面から入っていないというチャレンジングな面もあります。すべての国が議会制民主主義の国になることを目標に含めようとしたら、国連総会で全会一致でSDGsが採択されることはなかったでしょう。私たちは議会制民主主義の国に生まれ育ち、

その三竹ゼミから昨年誕生したのが「SDGsの認知度を上げるLINEスタンプ」「世界的マイクロファイナンス機関『Kiva』への融資」「SDGs 17目標をわかりやすく伝えるインスタグラムでの発信」「SDGs 17目標の子ども用教材作り」というプロジェクトだ。「コロナ禍前は「難民の故郷の味を大学食堂のメニューとして展開する

『Meal for Refugees(M4R)』への参加」も行っていた。

三竹准教授の専門・比較政治学の中のテーマにSDGsがあるが、ここに着目してテーマ展開をしているゼミ生が多いようだ。SDGsについて三竹准教授は「みんながワクワクする、思いっきりブツ飛んだ2030年の世界を先に描いて『そこに1歩でも近づけることをやって、みんなが楽しもう』というものです。そして17目標一つひとつではなく、全て一体として近づいていこうよ、とされています。ある意味、正しさを争いたいなものを、乗り越えようとしているプロジェクトなのです」と語る。

SDGsをテーマにしたプロジェクトが多くなるのかもしれない」と言う。

「どのゼミに入ろう?」と迷ったら、ぜひ後輩に入ってほしいのが三竹ゼミ。あなたのワクワクが必ず増幅します!



政治学科4年
瀬戸口 莉央 SETOGUCHI RIO



ライブトーク◎法学部 三竹直哉ゼミナール

ワクワクのエネルギーをゼミから日本へ世界へ繋げよう

比較政治学を専門としている三竹直哉准教授の下、ゼミ生たちはSDGsを広めるプロジェクトなどを自主的に立ち上げ、実行している。三竹ゼミでは何を大事に、どのような学び・活動を行っているのだろうか。三竹准教授とゼミ生の齋藤彩花さん、瀬戸口莉央さんを中心に、同じくゼミ生の畠田星夜さん、中村絵美さん、富原瑞貴さん、高橋伽菜さんも参加してオンラインミーティングを行った。

SDGsの本質は未来へのワクワク感だから斬新な企画が誕生するのかも

「ゼミを学生のワクワクでいっぱいにして、それで私もワクワクするのが三竹ゼミらしさです。ゼミ生の問題意識をメインに、学生主体で研究活動をしています」と話した三竹准教授の専門は比較政治学だ。民主化問題や

民族問題、移民・難民政策、先住民族政策などの問題を扱い、それらの政治現象について研究を行っている。

三竹ゼミでは、三竹准教授が専門としているトピックを参考に、ゼミ生が自分たちで取り組みたいテーマを決め、自由に研究活動を楽しんでいる。ゼミ生の齋藤彩花さんは「学生が主体的に何かを実行できるゼミを探し、三竹

ゼミを選びました」と言い、続けて瀬戸口莉央さんも「ワクワクだけを言わばいいんだよ」という三竹先生の言葉が魅力的でした。それまでは義務感にかられた勉強しかしてこなかったのですが、自分の興味が湧くテーマを研究し発展させると視野が広がり、専門分野の理解を深められると知りました」と語る。



三竹 直哉 准教授 MITAKE NAOYA

ワクワクする人を増やして、世の中にもっと価値を見出していけるようにエネルギーを注いでいくのが私の理想!

Profile
 学位:修士(学術) 東京大学 1990年。専門は比較政治学。1994年より駒澤大学 法学部政治学科にて教鞭を執る。
 「比較政治学」「国際社会入門」「外書購読」などを担当。日本ファンリテーション協会、日本比較政治学会、日本選挙学会、日本政治学会に所属。

夢中になっている時のエネルギーで行動し、未来にワクワクしよう!

当たり前のように享受してはいますが、そうではない人たちが地球上にはたくさんいて、そういう国や人たちのことも考え、研究してほしい。このトピックは毎年ゼミ生にも問いかけています」と教えてくれた。

LINEスタンプだけで終わらせない貧困を是正する活動に繋げる試みへ

「SDGsの認知度を上げるLINEスタンプ」と、「世界的マイクロファイナンス機関『Kiva』への融資」は瀬戸口さん、畠田さん、中村さん、富原さん、三橋さんの5人が主導した。

LINEスタンプは「学内でのSDGsの認知度を高めるために、楽しみながら拡散する方法を考え、多くの若者が使っているLINEスタンプを選びました(瀬戸口さん)。「スタンプの絵をみんなで描きましたが、それまで私は絵を描くことに苦手意識がありました。でも『上手いとか下手とか関係ないよ』とみんなが言ってくれて、楽しみながら自分の殻を打ち破る瞬間も経験できました(畠田さん)」。スタンプのイラストには三竹准教授も登場し、ゼミ生はもちらん卒業生や大学の関係者にも広がっている。中村さんは「このプロジェクトを通して、SDGsの17目標が相互関係

にあると実感しました」と言い、三竹准教授は「こんな面白いSDGsの広め方もあるんだなとワクワクしました」とゼミ生に伝えた。

このプロジェクトからLINEスタンプの収益を、貧困を是正する活動に繋げようとしたのがKivaへの融資だ。昨年は収益でまかなえなかったためゼミ生からの寄付金によって実行された。富原さんは「『Kiva』のサイトは英語なので、みんなで英語を解読し、また融資はお金が絡むので、支払い方法などもみんなで考えて選択しました。それらも良い経験になったと

01 SEMINAR PROJECT

SDGsの認知度を上げるLINEスタンプ

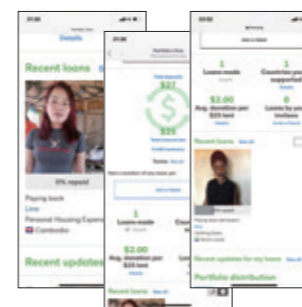
2020年6月 プロジェクト開始、9月 LINEスタンプ販売をスタート。多くの人に使ってもらえるかわいいイラストをみんなで考えたが、それ以上にSDGsの要素を噛み砕いていくことが難しかった。三竹准教授のイラストは現在と若き日の顔(ゼミ生の想像)の2バージョンがある。



02 SEMINAR PROJECT

世界的マイクロファイナンス機関『Kiva』への融資

Kivaはインターネットに加え、世界的なマイクロファイナンス機関のネットワークを活用し、融資を通して人と人を繋げ、格差による貧困を是正の活動に取り組むプログラム。ゼミ生たちは、自分が融資したいと思う人をしっかりと調べて評価し、その上で融資先を決めていったと言う。



03 SEMINAR PROJECT

SDGs17目標をわかりやすく伝える Instagramでの発信

2020年6月 企画スタート、11月 初投稿。「国内だけでなく海外の人たちにも広められるコンテンツだと感じました(三竹准教授)。ゼミ生は「このコンテンツを英語などで世界に発信し、もっと多くの人に見ていただきたいです。そして世界に三竹ゼミの名が知れ渡るようになったらカッコいいですね」と目を輝かせた。



思います」と語っている。

17目標をわかりやすい記事にしたそれは次のプロジェクトへの扉を開く

「SDGs 17目標をわかりやすく伝える Instagramでの発信」と、その発展形としての「SDGs 17目標の子ども用教材作り」は、齋藤さん、高橋さん、千葉さん、奥村さんの4人が企画・実行した。

テーマは、SDGsの各項目をわかりやすく多くの人たちに伝えること。自分たちを含め、多くの若者が使っている Instagram で発信することを決めた。齋藤さんは「子ども向けに発信内容を作れば、大人が見ても簡単にはわかると思う、子どもに向けたコンテンツ作りには挑戦しました」と言う。「投稿する原稿を作るにあたって、使いたいアイコンが厳しい著作権で制限されているなど、著作権についても深く学ぶ機会になりました(高橋さん)」。みんなで作り上げた記事を Instagram に投稿した後はフォロワーが増えていくとともに SDGs 関連の NPO や団体などからも「いいね」がくるなど、自分たちの想いが広がり、他者と繋がっていく感覚が得られている。その後、ゼミ生たちは「Instagram

04 SEMINAR PROJECT

SDGs17目標の子ども用教材作り

Instagram 投稿用に SDGs をわかりやすくしたコンテンツを、小さな子どもでも理解できるように1ワードごとに分け、イラストを付けるなど工夫をこらした教材作り挑戦している。



ム用のこのコンテンツは非常にわかりやすく作っているの、子ども用の教材として展開できるのでは?」と考え、次のチャレンジを始めた。

ワクワクのパワーを原動力にして誰もが楽しいと感じる世の中へ

三竹准教授は最後に、「夢中になっている時に出るエネルギーはものすごく大きくて、『やらなきゃ』と思ってるより、ワクワクのパワーを使った方がはるかに多くのことを達成できます。SDGs もそうですが、面白いと感じることにワクワクしながら色々な行動を起こして世の中を楽しくしていきたい」とメッセージを送ってくれた。

ゼミ生からのコメント

What's 三竹ゼミナール like?



世界をポジティブに見ることができるようになったことが一番の学びです。ワクワクすることが自分にとって、世界にとっても重要なことで、この気持ちが世界をもっと良くしていくと確信しました。今後は自分たちのワクワクをもっと発信してみたいです。

政治学科4年 高橋 伽菜



メンバーは個性豊かで、自分が好きなものも受け止めてくれる環境。だからこそ色々なことを乗り越えられました。今、世の中にある対立がどうしたら減るののかに関心があります。このワクワクであふれた環境は、その答えのカギになると思います。

政治学科4年 畠田 星夜



今回のゼミの活動により、SDGsが身近なものに感じられるようになりました。また、Kivaで融資をしたことにより、外国の方との繋がりを持つことができたと思います。今後もSDGsに対する意識を持ちながら、Kivaの融資継続や卒業研究に取り組んでいきたいです。

政治学科4年 三橋 萌乃



ゼミを通して自分の考えを相手に伝える力がついたと感じています。先生は学生同士で教え合うことを重視しているため、積極的に話し合います。自分の意見や感じたことを伝える場面も多く、初めのうちは戸惑いましたが、今ではゼミが楽しいです!

政治学科4年 富原 瑞貴



基本的に「教え合い」のスタンスでゼミのメンバーと協力して活動を行っており、メンバー同士でも仲が良いのが特徴です。比較政治学の勉強だけでなく、コーチングやSDGsなどにも触れる機会があり、社会でも活かすことができる学びが多いと感じます。

政治学科4年 千葉 祐輔



SDGsについて学び、17目標の相互関係と同時達成の重要性を知り、様々な課題へと興味の幅が広がりました。「ワクワク感」の大切さも学びました。自分が心から「面白い」と感じる際に湧き出るパワーを源に、今後も色々なことにチャレンジしたいです。

政治学科4年 中村 絵美



学術的なアプローチから実践的なアプローチまで学べる非常にアクティブなゼミだと思います。通常の講義ではインプットで終わってしまうこともしばしばですが、三竹ゼミではアウトプットを重視しているため、成長したい人にはとても楽しめる場です。

政治学科4年 奥村 敬大

ITスキルを高め、学びの質向上に繋げる。PAOPALが尽力する多彩なセミナー。

2019.11 Googleセミナー

—G Suiteの使い方—
PCを使って実際に体験しながらG Suiteについて学ぼう!

講師は当時4年生の先輩で、鈴木さんはアシスタントを務めた。参加者は1年生から大学院生までで「Googleサービスをもっとゼミや研究で活かしたい」という参加理由が多かった。「先輩が「このセミナーのために人前で話す練習をしたことが就職活動の成功に繋がった」と喜んでたことが嬉しかった」と鈴木さんは振り返る。



2018.11~12 動画編集セミナー

情報自習室のPCで今すぐできる!
初心者のための【Adobe Premiere Pro】動画編集!

講師はもともと動画編集をやっていた道山さん。経験をもとに配布資料を作成し、90分のセミナーでは動画の繋ぎ方や、フリー音源を用いた動画編集について教え、参加者にも実際にトライしてもらった。参加者は1年生から4年生まで幅広く、女子学生も多かった。初心者向けだったが「あわよくばYouTuberになりたい」という参加者もいた。



2019年秋は「Googleセミナー」を行った。Googleの教育機関向け複合グループウェアサービス「G Suite for Education」の中で、アンケートフォームを作成できる「Googleフォーム」や、「Gmail」「Googleドライブ」の使い方基礎から応用まで教えた。

「コロナ禍の2020年秋には、1年生をターゲットにしたオンライン交流会「Google meetつながる あつまれいち」と話している。

プロ仕様の優れたソフトを使おうから「コロナ禍だからこそできるセミナー」まで

これまでにPAOPALが開催してきた代表的なイベントやセミナーを紹介すると、2018年11月〜12月に「動画編集セミナー」を開催。「動画編集をやってみたくてなかなか手が出ない」という初心者ターゲットとした内容にした。このセミナーを企画した理由は「大学のパソコンには非常に機能の優れたアプリケーションがたくさん入っており、その中にはハリウッドの映画製作者も使っている『Adobe Premiere Pro』もあるが、使っている学生がほとんどいなくて非常にもったいないと思ったから」(道山さん)。今年も開催し、PAOPALの伝統にしたいセミナーである。



ねんせいの森」を開催。コロナ禍でいかに1年生の「コミュニケーションを深めていくかにチャレンジした」(松下さん)。

2020年冬は、Google Meetを使った「オンライングループワークセミナー」を実施。ゼミや就職活動がオンラインで行われることが増える中、より良くオンライングループワークに参加するスキルを高める方法を教えている。

「オンラインツールの使用がコロナ禍で加速した現在、使えるではなく、使いこなせる」ところまで、在学生のICTリテラシーを高めるサポートをしたい。しかも楽しみながら」とPAOPALメンバーは語ってくれた。

2020.12 オンライングループワークセミナー

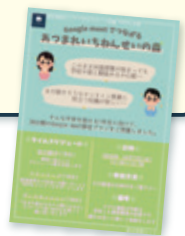
オンライングループワークの極意 ～大切なのは「知識」より「実践」～

講師は、このセミナーを企画した浅野さん。配布資料も作成し、浅野さんが考える3つのオンライングループワークのコツを解説。その上で参加者同士が「Go To トラベルに賛成か反対か」というテーマで討論し、プレゼンまで行った。「グループワークが苦手な学生が多いが、少しでも苦手意識を払拭できたなら嬉しい」(浅野さん)。



2020.10 Google meetでつながる あつまれいちねんせいの森

1年生のオンライン交流会というだけでなく、ゼミで多用されるソフト「Google Jamboard」の紹介も行った。できるだけ同じ学部の参加者でグループを作り、活発なフリートークへ誘導。話が弾んで時間をオーバーしたグループや、画面越しにLINE交換をしたグループもあり、「学生同士、繋がりをもちつ機会を求めていると感じました」(松下さん)。

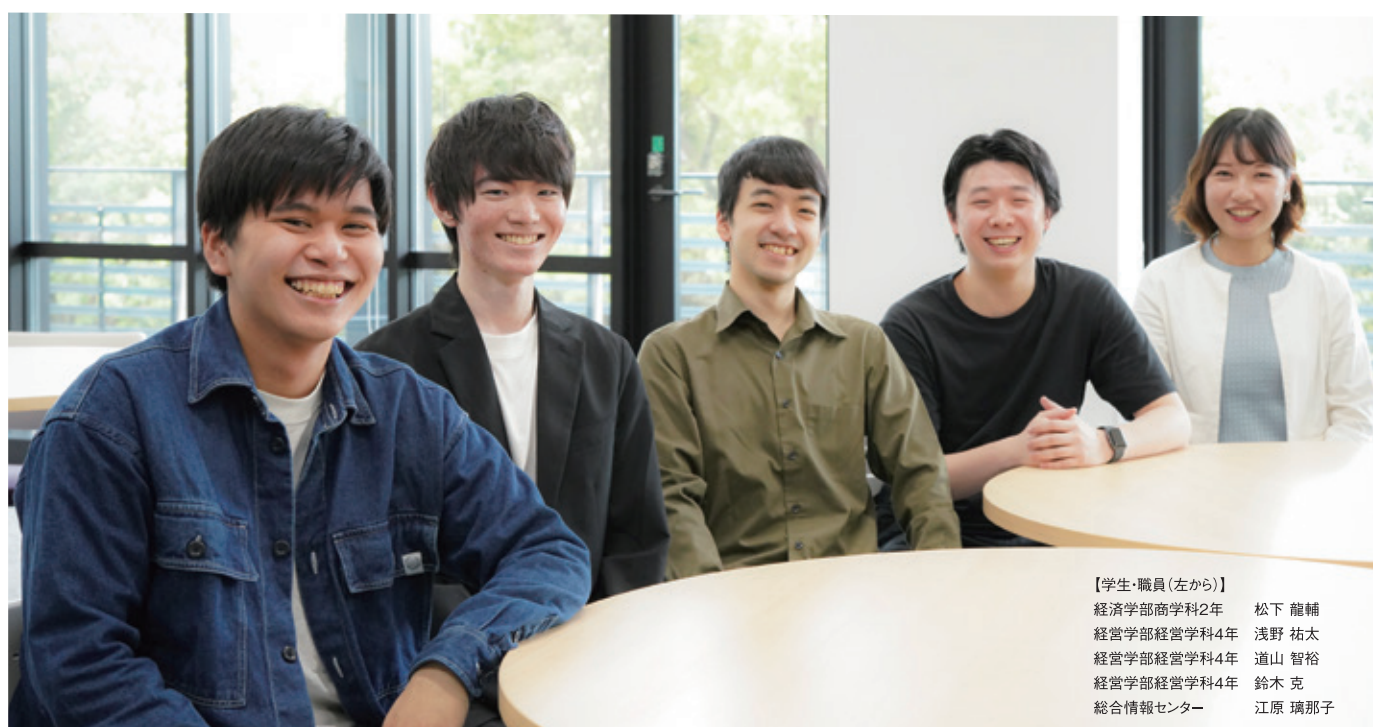


総合情報センターの学生サポート組織 PAOPAL(パオパル)は、在学生向けのセミナーやイベントを開催し、ICTリテラシーの向上に貢献している。実際、参加者から「グループワークの苦手意識が和らいだ」、「セミナーが就職活動に役立った」という声も多い。そのセミナーについて総合情報センターの江原璃那子さんとPAOPALのメンバーに話を聞いた。

自分たちでセミナーを企画・運営 培ったスキルはゼミや就活で活きる

PAOPALは、学生のICTリテラシーの向上と、オンラインツールやパソコンソフトを学びに繋げるサポートを目的として2018年に設立された、総合情報センターの学生サポート組織だ。名称は、活動拠点の「PAO(情報グループ学習室)」と仲間という意味の「PAL」を組み合わせたもの。PAOを活用し、学生が講師となつて行うセミナーや、外部講師を招いたセミナー、イベントなどを開催・運営し、「コロナ禍の今を」オンライン拡大の好機」と捉え、オンラインでグループワークのセミナーなどを企画開催している。

現在もメンバーを募集中だが、代表の松下さんは「PAOPALに参加した理由は、人前で話すのが苦手だった自分



【学生・職員(左から)】
経済学部商学科2年 松下 龍輔
経営学部経営学科4年 浅野 祐太
経営学部経営学科4年 道山 智裕
経営学部経営学科4年 鈴木 克
総合情報センター 江原 璃那子



Close-up
クローズアップ

総合情報センターの学生サポート組織

PAOPAL

パオパル



PAO
PROJECT AREA FOR ACTIVE ORGANIZATION

を変えたかったから」と話してくれた。PAOPALの活動はイベントやセミナーの企画・運営がメインのため、企画力だけでなく講師として人前で話すことや、教えることによってコミュニケーション力が磨かれる。メンバー全員が口を揃えて「ここで身に付けたコミュニケーション力はゼミや就職活動で必ず役に立つ」と力強く語る。また、1年生であってもやりたい活動があれば企画を出してセミナー講師もでき、それを先輩がしっかりと支えている。PAOPALの活動をサポートしてきた総合情報センターの江原さんは「彼らは本当に頼もしい存在で、学年が上がるごとにどんどん成長していくのがわかり嬉しく感じます」



研究テーマの種

総合教育研究部 スポーツ・健康科学部門の科目「健康・スポーツ実習」「健康スポーツ論」「生涯スポーツ実習」を担当しています。幼少の頃は将来は父親と同じ薬剤師になるつもりでしたが、まさか大学で教えることになると思ってもいませんでした。振り返ると私の研究テーマは6歳の時に始めた空手道がきっかけとなっています。通っていた道場はレベルが高く、なかなか結果を出せなかった私は少し劣等感を抱くこともありましたが、辞めずに続けた結果、中学3年生の時に全国中学大会の個人戦で2位になり、県外の高校に入学することになりました。高校の恩師が駒澤大学を薦めてくださったので志望し、経済学部に入りました。大学卒業後は母校に戻って高校の教員として空手道部の顧問をする予定だったので、大学で社会・地理歴史・公民の教員免許を取得しました。

空手道部では先輩・同期・後輩に恵まれ、みんなと一緒に空手をするのが本当に楽しかったです。

長年続けていた空手道が研究テーマをもたらし視座は人間関係や社会システムへ

空手道や自身の生活など身近なところからテーマを発見し、研究を続ける末次准教授。どのように研究し、活かそうとしているのかも語ってくれた。



SUETSUGU
MIKI

Profile

佐賀県生まれ。駒澤大学経済学部卒業。国土館大学大学院スポーツシステム研究科修了。2008年より総合教育研究部 スポーツ・健康科学部門で教鞭を執る。2019年より関東学生空手道連盟 理事・評議委員。日本武道学会、日本スポーツとジェンダー学会、日本体育・スポーツ哲学会、日本体育学会 所属。

総合教育研究部
スポーツ・健康科学部門 准教授

末次
美樹

芽生える疑問

大学時代、一番印象に残っているのは4年次の東日本大会優勝です。私は試合の翌日から宮崎県の母校で教育実習があったので、決勝を見ることなく飛行機に乗り込みました。フライト直前に女子が初優勝した!と聞いて、機内で大泣きしたのが忘れられない思い出です。

卒業後は母校で教員になる予定でしたが、社会科に空気がなく、体育科の免許を取ってほしいと言われました。しかし、高校教諭を務めながら体育の免許を取る自信がなかったので、この際、体育の大学院に行こうと決め、大学院の授業とは別に学部の授業を受けて体育の免許を取り、それから母校に戻りたいと考えました。



公益社団法人 日本空手協会主催 第44回 全国空手道選手権大会
個人組手、団体形・組手に出場し全て優勝
2001年 於日本武道館

STORY

多様性を臨んで

武道の、礼を突き詰めていっただらんとどん武道から離れ、孔子の教えに行き着いてしまいました。礼の本質は「人間関係の調和」であり、目の前の人を敬い、人間関係をおろそかにしないという意味が含まれています。これを武道に当てはめて考えると、道場での立ち居振る舞いや様々な場面でのルールやマナーの遵守等にまで広がります。礼は「お辞儀」という作法として捉えられがちですが、目の前の相手との関係性をどう築いていくかといった「コミュニケーション」に近い要素を含んでいると私は考えています。

大学院修了時にご縁があり、駒澤大学へ戻ってきました。私の授業では、人間関係の調和に繋がる「コミュニケーション」を身に付けることを重視しています。理論の授業ではグループワークを通して、話すことが苦手でも、相手の言葉に対して相づちだけでもいいから、自分の意思を、相手に伝えることができるようになってほしいと伝えています。実技では、色々なスポーツを楽しみながら、相手との関係性を築くことで、孔子の教えに通じる「コミュニケーション」能力の大切さを伝えていきます。

グループワークなどを通じて「コミュニケーション能力や自分の考えを相手に伝える力を磨いてください」



切さを伝えていきます。

数年前から「空手道に携わる女性の現状」「誰もが空手を続けやすい環境づくり」などの新しい研究テーマに挑んでいます。2016年に出産しましたが、

それまで当たり前でできていた空手関係の活動がストップしてしまいました。「他の女性はどうやって活動しているんだろう?」と疑問に思ったのがこの研究を始めたきっかけです。

STORY

より自由な社会へ

研究を進めて浮き彫りになったのは、多くのスポーツや日本社会の活動システムがある限られた人たちにに向けて構築されているのではないかと、という現状でした。私自身の環境の変化に応じて調査研究を開始しましたが、活動阻止の要因の背景に社会や組織のシステムが影響していることが判明し、個人の環境に左右されることなく誰もが活躍できる社会であってほしいと願うようになり、続けられる「社会になったら、今まで色々な縛りがあつて活動できなかった方々も、多くの活動ができるようになる」と考えています。

私は空手を長く続けてきたわけですが、この継続がキャリアづくりに役に立っています。スポーツの目的は「試合で優勝したい」「良い成績を残したい」だけではなくありません。空手を始めた当初、なかなか結果が出ないながらも辞めることなく、ここまで空手をやってきた私だからこそ、「ずっと続けたい」「年を取ってからだけでもやってみよう」という人たちがいつでも活動できる環境づくりに繋がる期待を込めて、この研究を続けていきます。



日本武道学会 第52回大会にて研究発表
2019年 於國學院大學

駒大NEWS

2020-2021

スポーツ、文化、地域社会で、駒澤大学が活躍しているニュースを一堂に!



第97回箱根駅伝



第105回日本陸上競技選手権大会

第52回全日本大学駅伝対校選手権大会

陸上競技部

「第97回 箱根駅伝」13年ぶり7回目の総合優勝
2021年1月2日(土)・3日(日)に東京・大手町～箱根・芦ノ湖往復(10区間217.1km)で開催された「第97回東京箱根間往復大学駅伝競走」において、10時間56分04秒のタイムで13年ぶり7回目の総合優勝を果たしました。

10区間中、箱根駅伝初出場が7人という「若いチーム」で臨んだ今大会。スピード勝負になるとみられた1区は予想外のスローペースも影響したのか、区間15位の苦しいスタートとなりました。続く2区の田澤廉選手(経済2)がエースの意地を見せ、順位を8位まで押し上げます。3区ではメンバー唯一の4年生、小林歩選手(心理4)が棒を受け取り、大学駅伝を見事に締めくくる区間2位の快走で3位に躍り出ます。その後も攻めの走りで積極的に前を追いかけ、5区の山登りを託された鈴木芽吹選手(経営1)が区間4位で食らいつき、往路3位でフィニッシュしました。

迎えた復路は花崎悠紀選手(市場戦略3)の区間賞の

快走で幕を開けます。区間歴代3位のタイムを記録して2位で襷リレー。7区から9区は単独走の展開となりましたが、諦めずに先頭を追いかけ、それぞれ区間上位の快走をみせました。しかし、トップとの差を詰めきれず先頭創価大学から3分19秒差の2位で最終10区へ。残り2km地点でついにトップに追いつき、最終10区での劇的な首位交代により13年ぶり7回目の優勝を飾りました。

「第52回全日本大学駅伝対校選手権大会」6年ぶり13回目の優勝
2020年11月1日(日)に名古屋・熱田神宮～伊勢・伊勢神宮(8区間106.8km)で開催された「秩父宮賜杯第52回全日本大学駅伝対校選手権大会」において、大会新記録となる5時間11分08秒のタイムで優勝を果たしました。

1区加藤淳選手(経済4)が区間新記録の3位で好調なスタートを切り、続く2区と3区は三大駅伝デビュー戦となる1年生リレー。4区は3年連続出場となる伊東颯汰選手(経営4)が昨年と同じ区間を任せ、安定した走りを見せます。一時9位まで下がった順位を粘

りの走りで少しずつ上げていき、7区小林歩選手(心理4)には4位で棒が渡ります。4年生の意地を見せる長距離区間の快走で、トップと41秒差、2位とは2秒差の3位で8区のアンカー田澤廉選手(経済2)へ。青山学院大学、東海大学との絶妙な先頭争いの末、残り1km地点で圧巻のスパートをかけた田澤選手が区間賞の走りでトップに立ち、6年ぶり13回目の優勝を果たしました。

これで全日本大学駅伝対校選手権大会の最多優勝記録を更新。箱根駅伝の優勝と合わせ、学生三大駅伝で単独最多優勝となる23勝を記録しました。

田澤廉選手と鈴木芽吹選手が「第105回日本陸上競技選手権大会10000m」で入賞
2021年5月3日(月)に静岡スタジアムで行われた「第105回日本陸上競技選手権大会10000m」で、田澤廉選手(経済3)が27分39秒21(自己ベスト)で第2位、鈴木芽吹選手(経営2)が27分41秒68(自己ベスト)で第3位に入賞し、それぞれ日本人学生歴代2位、3位に入る好記録を残しました。

※学年は当時のもの

駒澤大学の就職力

就職決定率 **95.3%** 直近4年、就職希望者の95%以上が就職している。

求人倍率 **4.36倍** 全国の大卒求人倍率の1.53倍を大幅に上回る求人倍率だ。(2020年度卒業生対象)※出典リクルートワークス研究所

求人企業 **13,446社** 東京を中心に、全国各地の多様な業種の企業から学生一人当たり4.36社と多数の求人がある。

2020年度は13,446社から求人があった。就職決定率は95.3%。業界研究や各種資格試験、文章・面接対策講座など300にものぼる就職支援講座や希望者全員を対象にしたオンライン面談など、一人ひとりの学生に向けたきめ細かなサポートが駒澤大学の就職力を支えている。

主な就職先

| | | | | |
|---|--|---|--|--|
| <p>■ 仏教学部</p> <p>理学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京セキスイハイム株式会社 株式会社ガッツエンターテインメント 日本郵便株式会社 セコム株式会社 東京東信用金庫 学校法人三幸学園 本山安居 <p>仏教学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 大東建託株式会社 株式会社伊藤農園 株式会社安川電機 ダンロップタイヤ関東株式会社 日本マフナル株式会社 株式会社電通 セコム株式会社 株式会社ネオキャリア 東京拘置所 本山安居 <p>■ 文学部</p> <p>国文学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本ハズシング株式会社 株式会社幻冬舎 株式会社大塚商会 野村證券株式会社 横浜エフエム放送株式会社 UTグループ株式会社 新潟県信用組合 防衛省 海上自衛隊 世田谷区役所 鹿嶋市役所 警視庁 埼玉県警察本部 東京都教育委員会 神奈川県教育委員会 千葉県教育委員会 長野県教育委員会 <p>英米文学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 住友林業株式会社 株式会社ブルボン 日本電気株式会社 (NEC) 日産部品中央販売株式会社 株式会社大塚家具 株式会社東急ハンズ 株式会社エイチ・アイ・エス 株式会社富士巧芸社 千葉県教育委員会 栃木県教育委員会 横浜市教育委員会 <p>地理学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 内外地研株式会社 国土情報開発株式会社 九州旅客鉄道株式会社 (JR九州) 京浜急行電鉄株式会社 東急バス株式会社 東京計器アビエーション株式会社 みずほ証券株式会社 株式会社エイジック エヌエス環境株式会社 大同信号株式会社 国土交通省 東京拘置所 <p>心理学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 積水ハウス株式会社 イオンリテール株式会社 サミット株式会社 西日本電信電話株式会社 (NTT西日本) H.I.S. ホテルホールディングス株式会社 宇都宮市役所 つくば市役所 | <p>刑務官</p> <p>世田谷区役所</p> <p>木更津市役所</p> <p>出雲市役所</p> <p>三重県警察本部</p> <p>東京消防庁</p> <p>静岡県教育委員会</p> <p>学校法人横須賀学院</p> <p>歴史学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 京セラ株式会社 株式会社トップ 日本電子計算株式会社 株式会社ジュピターテレコム 株式会社ディリススポーツ キッセイ薬品工業株式会社 株式会社京王百貨店 日本郵便株式会社 東日本旅客鉄道株式会社 (JR東日本) 山九株式会社 錦江コーポレーション株式会社 東京国際埠頭株式会社 学校法人河合塾 学校法人東京歯科大学 公益社団法人日本空手協会 厚生労働省 神奈川労働局 東京都税務局 関東信越国税局 葛飾区役所 横浜市役所 さいたま市役所 宇都宮市役所 神奈川県警察本部 福島県警察本部 東京都教育委員会 埼玉県教育委員会 北海道教育委員会 宮城県教育委員会 横浜市教育委員会 <p>社会学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本ヒューレット・パッカド株式会社 東急電鉄株式会社 明治安田生命保険相互会社 東急カード株式会社 株式会社ベネッセスタイルケア SOMPOケア株式会社 日本郵便株式会社 世田谷信用金庫 学校法人東海大学 社会福祉法人横浜市社会事業協会 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 防衛省 海上自衛隊 警視庁 神奈川県庁 世田谷区役所 品川区役所 相模原市役所 千葉市役所 多摩市役所 <p>心理学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 積水ハウス株式会社 株式会社一業工務店 スターツグループ エステー株式会社 王子製紙株式会社 いすゞ自動車株式会社 株式会社大塚商会 AGC硝子建材株式会社 | <p>■ 経済学部</p> <p>経済学科</p> <ul style="list-style-type: none"> スターツグループ 東急電鉄株式会社 東海旅客鉄道株式会社 (JR東海) 三菱食品株式会社 株式会社ZOZO 株式会社帝国データバンク 南青山税理士法人 独立行政法人労働者健康安全機構 日本年金機構 社会保険診療報酬支払基金 内閣人事局 防衛省 海上自衛隊 防衛省 航空自衛隊 世田谷区役所 杉並区役所 川崎市役所 警視庁 千葉県警察本部 群馬県警察本部 <p>商学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社一条工務店 スターツグループ プリマム株式会社 アイリスオーヤマ株式会社 株式会社ユニクロ 株式会社ニトリ 株式会社カインズ 株式会社千葉銀行 株式会社福岡銀行 楽天カード株式会社 株式会社マイナビ 株式会社ニトリホールディングス 独立行政法人労働者健康安全機構 セレサ川崎農業協同組合 (JAセレサ川崎) 有限責任監査法人トーマツ 警視庁 <p>現代応用経済学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社オカムラ 株式会社不二越 株式会社群馬銀行 株式会社青森銀行 株式会社宮崎銀行 ニフティ株式会社 日本放送協会 (NHK) 株式会社LDH JAPAN マンパワーグループ株式会社 全国農業協同組合連合会 (JA全農) 信州県協同組合 (JA信州県協) 学校法人慈恵大学 厚生労働省 神奈川労働局 横須賀市役所 入間市役所 <p>■ 法学部</p> <p>法律学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 積水ハウス株式会社 株式会社一業工務店 スターツグループ エステー株式会社 王子製紙株式会社 いすゞ自動車株式会社 株式会社大塚商会 AGC硝子建材株式会社 | <ul style="list-style-type: none"> 白十字株式会社 株式会社カブコン セコム株式会社 阪神高速技術株式会社 岡三証券株式会社 第一生命保険株式会社 株式会社北洋銀行 株式会社オリエンコーポレーション 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 富士通コミュニケーションサービス株式会社 東芝エレベータ株式会社 東日本旅客鉄道株式会社 (JR東日本) 東急電鉄株式会社 日本年金機構 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 厚生労働省 東京国税局 関東信越国税局 防衛省 海上自衛隊 防衛省 航空自衛隊 千葉県庁 目黒区役所 中野区役所 川崎市役所 つくば市役所 警視庁 神奈川県警察本部 埼玉県警察本部 新潟県警察本部 秋田県警察本部 さいたま市消防局 <p>政治学科</p> <ul style="list-style-type: none"> アイリスオーヤマ株式会社 株式会社ディリススポーツ 古河電池株式会社 北海道旅客鉄道株式会社 (JR北海道) アスクル株式会社 株式会社中国銀行 東急カード株式会社 株式会社ジュピターテレコム 株式会社NTT東日本・南関東 空港情報通信株式会社 埼玉県信用金庫 日本年金機構 東京都国民健康保険団体連合会 東京都税務局 地方防衛局 防衛省 陸上自衛隊 陸上自衛隊幹部候補生学校 江東区役所 横浜市役所 川崎市役所 飯塚市役所 長野県警察本部 東京消防庁 <p>■ 経営学部</p> <p>経営学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 野村不動産アーバンネット株式会社 株式会社イトーキ YKK AP株式会社 伊藤テクノ株式会社 東京計器株式会社 富士フィルムメディカル株式会社 リコージャパン株式会社 株式会社ナイキジャパン | <ul style="list-style-type: none"> スターバックス コーヒー ジャパン株式会社 株式会社横浜銀行 日本生命保険相互会社 株式会社電通 日本郵便株式会社 世田谷信用金庫 東京国税局 大田区役所 <p>市場戦略学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 首都高メンテナンス西東京株式会社 株式会社湖池屋 株式会社ヤクルト本社 共同印刷株式会社 セリア新薬工業株式会社 YKK AP株式会社 アマノ株式会社 株式会社良品計画 リコージャパン株式会社 株式会社ローソン 日本マフナル株式会社 株式会社ニトリ 楽天銀行株式会社 株式会社千葉興業銀行 SMBIC日興証券株式会社 富士フィルムシステムサービス株式会社 KDDI株式会社 川崎信用金庫 警視庁 <p>■ 医療健康科学部</p> <p>診療放射線技術科学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社京都科学 国立研究開発法人国立がん研究センター 中央病院 独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 学校法人埼玉医科大学 埼玉医科大学病院 学校法人聖マリアンナ医科大学 聖マリアンナ医科大学病院 学校法人順天堂 順天堂大学医学部附属順天堂病院 学校法人慈恵大学 埼玉県立病院 <p>■ グローバル・メディア・スタディーズ学部</p> <p>グローバル・メディア学科</p> <ul style="list-style-type: none"> 三井不動産リアルティ株式会社 株式会社ブルボン 株式会社講談社 ファイザー株式会社 商船三井ロジスティクス株式会社 国分グループ本社株式会社 伊藤忠アビエーション株式会社 株式会社セブンイレブン・ジャパン 株式会社鹿児島銀行 明治安田生命保険相互会社 住友生命保険相互会社 JFEシステムズ株式会社 株式会社帝国データバンク ソフバンク株式会社 イッツ・コミュニケーションズ株式会社 野村不動産アーバンネット株式会社 株式会社イトーキ YKK AP株式会社 伊藤テクノ株式会社 東京計器株式会社 富士フィルムメディカル株式会社 リコージャパン株式会社 株式会社ナイキジャパン |
|---|--|---|--|--|

(2021.3.31現在)

苦小牧駒澤大学に安置されていた一仏両祖像を駒沢キャンパスに移設

本学における仏教教育に有益に使用するため、駒沢キャンパス本部棟正面階段踊り場に移設し、永井政之総長導師のもと遷座法要を執り行いました。



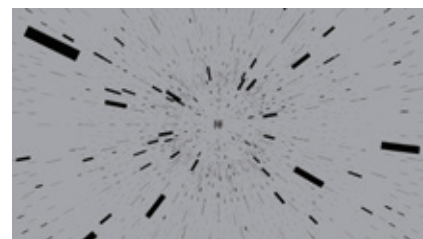
卒業生からマスク1万枚の寄贈

鏡天国際株式会社代表取締役を務める叶鏡天さん(2016年市場戦略卒)からサージカルマスク1万枚が寄贈されました。



禪ブランディング事業の動画コンテンツを公開

卒業生の善竹大二郎さん、大藏教義さんも出演する『禪と古典芸能 能楽へのいざない』を無観客で開催し、動画を期間限定で公開しました。また、禪ブランディング事業の5年間の活動を記録した動画も公開しています。



医療健康科学部と麻布大学獣医学部が連携協力に関する包括協定を締結

相互の学術及び人的交流を通じて、学術研究の振興と高度人材育成を図り、幅広い社会貢献に役立つための共同研究・事業を目指します。

開校130周年記念棟「種月館」が日本サインデザイン賞に入選

内外装デザインだけでなく、サイン計画、家具デザイン等様々な視点から統一したデザインコンセプトを体現することで、大学の歴史や伝統、「禪」の精神を肌で感じることができる空間の演出が評価されました。



その他の本学のニュースは大学ホームページからご覧いただけます。



硬式テニス部の日暮春香選手(歴史4)と清水里咲選手(国文3)が「2020年全国学生テニス選手権大会」女子ダブルスで第3位



大学の取り組み

玉川キャンパスグラウンドの改修工事を実施

玉川グラウンドは体育の授業や部活動で多くの学生が利用しており、学生が安心して活動できるよう定期的なメンテナンスが欠かせません。今回は8年ぶりとなる陸上トラック張替えと人工芝張替え等が行われました。



学生支援の一環として「Meetでつながる駒ランチ」を配信

新型コロナウイルス感染症対策により人との関わりが希薄になりやすい学生の不安や孤立感の解消を目的に、本学職員が在学生対象のライブ配信企画を実施しました。



曹洞宗宗務庁からお見舞金、駒澤大学同窓会・駒澤大学教育後援会からご寄付をいただきました

お見舞金・ご寄付は、教育・研究環境の維持・経済的支援など、学生の学びの機会を確保するために有効に活用させていただきます。



プロ野球ドラフト会議で硬式野球部の選手3人が指名を受ける

若林楽人選手(現代応用経済4)が埼玉西武ライオンズから4位で指名、育成枠で緒方理貢選手(法律4)が福岡ソフトバンクホークス、前田研輝選手(商4)が読売ジャイアンツから指名を受けました。



湯浅亜実さん(英米文4)が2020年度の全日本チャンピオンを決定する国内選手権大会「第2回全日本ブレیکن選手権」の「オープンBGIRL(女子)部門」で優勝



体操競技部が2大会で部史上最高の成績

「第74回全日本学生体操競技選手権大会」男子1部団体総合選手権の部で第6位、令和2年度の「関東学生新人体操競技選手権大会・関東学生体操競技交流大会」男子新人団体総合選手権の部で準優勝しました。また、個人総合選手権・種目別選手権でも多くの選手が入賞しました。



オーストラリアンフットボール部「マグパイズ」の三田拓希選手(経営2)と羽島陽祐選手(GM2)が「2020 AFL JAPAN AWARDS」で表彰



グローバル・メディア・スタディーズ学部の服部哲ゼミが活動成果を「せたがや国際交流センター」でパネル展示

服部ゼミでは2016年度より世田谷区と協力し、「せたがや国際化プロジェクト」の一環として世田谷区の魅力を国内外に発信する取り組みを進めています。今回は、「駒澤大学の学生による多文化共生の展示」として2・3年生のゼミ活動の研究成果を展示しました。



経済学部ITプロフェッショナルクラスの学生が「松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト2021」で受賞

このコンテストは、幅広い分野でオープンソースを活用するプランをアイデアから形にすることで、新しいビジネスプランを事業化・起業化へ繋げることを目的としています。武田紗良さん(商2)の「みんなで作るネイルレシピ集」が最優秀賞、熊谷菜々子さん(経済2)の「オーダーメイドマスク生産販売」が奨励賞を受賞しました。

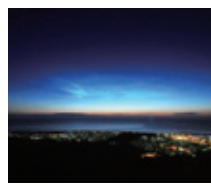
小泉旬平さん(医療健康科学研究科修士1)が「第76回日本放射線技術学会総会学術大会」で表彰

放射線技術分野における国内最大規模の学会で、学生による研究発表の中で学術的に優れた将来性豊かな発表に贈られる「Excellent Student Award」を受賞しました。



総合教育研究部の坂野井和代教授が参加する研究チームが北海道で5年ぶりに3日連続「夜光雲」の観測に成功

「夜光雲」は地球温暖化の進行具合を表すと考えられている超高層大気での現象です。温室効果ガスである二酸化炭素が大気中で増加すると、超高層では逆に寒冷化に繋がっており、これが氷の雲である夜光雲の出現頻度を増加させると予想されています。



課外活動

サッカー部が「東京都サッカートーナメント」で優勝し天皇杯出場

サッカー部が「第26回東京都サッカートーナメント」で優勝し、東京都代表として3年ぶり14回目の「天皇杯JFA第101回全日本サッカー選手権大会」に出場しました。



経済学部の深見泰孝ゼミが「2020年度証券ゼミナール大会」で2年連続の優秀賞を受賞

論文、プレゼン、大会当日の討論を総合的に評価して優秀賞を決定する大会で、深見ゼミは第4テーマ「日本の証券会社に求められる役割～家計との関係から～」のCブロックと、第5テーマ「日本における金融教育のあり方」のDブロックでそれぞれ優秀賞を受賞しました。



経営学部の中村公一ゼミが株式会社トリドールホールディングスと2年連続の協働プロジェクトを実施

学内にも店舗がある「丸亀製麺」で有名な株式会社トリドールホールディングスの本社で産学協働プロジェクトの報告会を行いました。今回は社会課題の中から重要だと考える課題について、学生の視点から提案しました。



グローバル・メディア・スタディーズ学部の学生が武蔵野大学と「オンライン合同合宿」を開催

武蔵野大学データサイエンス学部の石橋直樹教授(元グローバル・メディア・スタディーズ学部講師)が主催したもので、参加学生はオンラインツールを用いて大学の垣根を越え、72時間という限られた時間でwebアプリ開発に取り組みました。

経営学部が世田谷区立駒沢小学校で動画配信企画を実施

駒沢小学校のサマースクールが新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったことに伴い、学生の発案で鹿嶋秀晃ゼミと渡辺伊津子ゼミが動画を制作し、多くの児童の皆さんにご覧いただきました。

経済学部長山宗広ゼミの古賀理恵子さん(経済2)が「第5回立石信雄懸賞小論文コンクール」若い人たちの発想に期待して」で優秀賞を受賞

受賞論文は「リモート事業お助け隊-「密」な情報交流を通して」です。



ゼミ・研究

グローバル・メディア・スタディーズ学部の各務洋子ゼミが「第60回インナー大会プレゼンテーション部門本選」で最優秀賞を受賞

この大会は関東地区の経済・経営・商業系の分野を専攻する学生を対象とした関東最大規模の学術大会です。各務ゼミ「視力向上委員会」チームはプレゼンテーション部門で「近視のない世界へ～近視 Bye Bye ゲーム Eye Eye～」というテーマで発表し、最優秀賞を受賞しました。



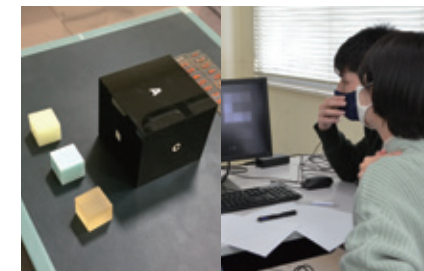
経済学部の長山宗広ゼミが学生対象のクーポンアプリ「どこでも社食&学食」を企画開発

提携した大学に所属する学生が加盟飲食店で割引を受けられることができるサービスで、コロナ自粛後の地域の飲食店への来客促進を目的に、株式会社シンシアージュに起案し実現しました。



医療健康科学部の近藤啓准教授が研究開発した放射線教育の教材「XCUBEFAN」が発売

ベシック放射線ファントム「XCUBEFAN」が、株式会社京都科学から発売されました。また、「XCUBEFAN」を用いてX線の画像特性を学ぶために医療健康科学部の志村一男准教授と近藤啓准教授が「ブラックボックスコンテスト」を開催しました。



駒澤大学附属苫小牧高等学校 NEWS

女子硬式野球部が創部1年目で全国大会出場

2021年3月27日(土)より埼玉県で開催された「第22回全国高等学校女子硬式野球選抜大会」に、創部1年目の女子硬式野球部が出場しました。コロナ禍のため感染防止対策も万全に臨んだ大会では、1回戦で叡明高校(埼玉県)に16対2の5回コールドで公式戦初勝利を取ることができました。今後のさらなる活躍が期待されます。



女子硬式野球部第1期生とスタッフ。新入生18人を迎えて、さらなるレベルアップに期待したい。



初の公式戦で部員たちは投球に活躍。初戦に勝利を取った。



全国大会時のベンチの様子。茶木圭介監督の指示にも力が入る。

美術部3年生が全国高等学校総合文化祭に絵画展

美術部の楠木綾乃さん(3年・B特進系)の絵画が、「令和2年度高文連全道大会」で全国推薦作品に選ばれ、和歌山県で開催される「第45回全国高等学校総合文化祭(紀の国わかやま総文2021)」に出展されることになりました。題名は「彼方(かなた)のとおり道」。「F30号」という縦90センチ、横72センチにもなるキャンバスに描いた油彩画です。楠木さんが家族と長崎市の龍馬通りを歩いた際に見た風景を描きました。高文連全道大会に出展された約500点の中から全国総文祭に進む14点の推薦作品の一つに選ばれた本作品。「文化祭のインターハイ」とも呼ばれる、高校生による国内最大規模の文化の祭典・全国総文祭に本校生徒の作品が出展されるのは、28年ぶりの快挙となります。



自身の作品が全国総文祭に出展される楠木さん。作品制作に余念がない。



楠木さんの作品「彼方(かなた)のとおり道」。全国総文祭で見ることができる。

第58回入学式を挙、新入生280人が高校生活をスタート

2021年4月10日(土)、第58回入学式が挙行されました。昨年度は2回に分けて挙行されましたが、今年度は新入生が一堂に会する形で行いました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各家庭1人の参列にご協力いただき、無事に新入生の入学をお祝いすることができました。今年度は280人が入学。コロナ禍での学校生活となりますが、目標を持って入学してきた1年生一人ひとりの今後の活躍に期待しています。



座席の間隔を空けて配置。新型コロナウイルス感染症対策を十分に施した上で挙行された。



新入生代表・成澤いち香さんによる宣誓。演壇にはアクリル板を設置し飛沫防止対策を講じた。



駒澤大学附属苫小牧高等学校

1964年設立
 生徒数/804人
 所在地/〒053-8541 北海道苫小牧市美園町1-9-3
 TEL/(0144)32-6291
 FAX/(0144)32-6521
 公式HP/https://www.komazawa-uth.ed.jp/



駒澤大学高等学校 NEWS

体操競技部が各種大会で活躍

体操競技部女子が、2021年5月1日(土)に開催された「令和3年度関東高等学校体操競技大会東京都予選会」で団体総合準優勝を果たし、「関東高等学校体操競技大会」の出場を決めました。それに続き、体操競技部男子が、2021年5月2日(日)に行われた「東京都総合体育大会兼インターハイ予選兼関東大会予選」において団体総合優勝を果たしました。その結果、「関東高等学校体操競技大会」と「全国高等学校総合体育大会(インターハイ)」への出場が決定しました。体操競技部女子の関東大会出場は10年ぶり、体操競技部男子のインターハイ団体出場は7年ぶりの快挙となりました。



左から後藤鈴、小宮山莉愛、高木雪那、紺田柚香



左から前田憲伸、豊田核大、栗原優太、板橋永久

駒澤大学高校卒業生が司法試験、国家公務員試験に合格し活躍

駒澤大学高等学校から、駒澤大学法学部の熊谷芝青ゼミに進んだ山際爽志さん、大樫範臣さんが司法試験に合格、小田湧太さんが国家公務員試験に合格し、活躍しています。3人が熊谷ゼミの特徴として共通して挙げたことは、熊谷ゼミの「ハードさ」でした。判例を1年間で50例学び、班ごとの発表の緊張感がゼミ生の学習意欲を高めていたそうです。資格試験に向けては、毎日10時間以上の勉強も必要でしたが、熊谷ゼミで身に付けた基礎力・応用力と、「法律が面白い」と思う気持ちのおかげで苦ではなく、さらに高校時代に野球部や体操競技部で培った集中力も重要な要素になったと言います。今後も高大連携によって活躍する人材の育成が期待されます。



大樫範臣



山際爽志



小田湧太



駒澤大学高等学校

1948年設立
 生徒数/1638人
 所在地/〒158-8577 東京都世田谷区上用賀1-17-12
 TEL/(03)3700-6131(代表)
 FAX/(03)3707-5689
 公式HP/http://www.komazawa.net/



より豊かな心を目指してデジタル化とダイバーシティを進め、
皆さんとともに駒澤大学の魅力を世界に発信していきたい。

2021年4月1日、各務洋子 グローバル・メディア・スタディーズ学部教授
が学長に就任しました。経営戦略論・グローバル経営論を専門とし、多くの
グローバル企業を研究してきた各務学長が駒澤大学にどのようなビジョン
を描き、展開していきたいと考えるか、その思いを伺いました。



デジタル技術の革新を背景に、グローバル化が新たな段階に入ったといわれます。グローバル化の進展は、人々の行動を大きく変える原動力になります。

長い歴史を持ち、ゆるぎない仏教の精神を大切にしてきた駒澤大学が、仏教とは異なる世界で育った私を学長に選出したことは、本学が新たなステージに進み始めた証であるのかもしれない。

駒澤大学の発信力を高め、デジタル化とダイバーシティを推進していくために

新体制において新しく掲げた方針が2つあります。

一つは、「デジタル化の推進によるマネジメント改革」です。「コロナ禍を通して日本のデジタル化の遅れが図らずも露呈しました。2020年スイスのビジネススクールIMD (International Institute for Management Development) の世界競争力センターが発表した国際競争力ランキングにおいて、日本は世界主要63か

国中、過去最低の34位となり、とりわけデジタル技術とマネジメント慣行の項目で62位の評価を受けました。日本のIT分野の出遅れが、国の競争力の低下の一因であることは否めません。専門の学問分野が何であろうとも、教育の現場において、学生の学び方、教職員の働き方の多様化を実現するためにも、デジタル化の推進は欠かせません。

もう一つは、「ダイバーシティ(多様性)の尊重による個を活かす大学」です。世界経済フォーラム(WEF)のジェンダーギャップ指数が153か国中120位であることは有名になりました。女性活躍推進は進んでいないどころか、逆に格差が拡大している現状が明らかになりました。ダイバーシティ問題の中で、性別はその属性の一つではありません。「個の尊重」として、性別、年齢、国籍、人種、エスニシティ、宗教、セクシュアリティ、ライフスタイル、障がいなどの多様性に配慮する大学の取り組みが必須です。「個の尊重」を基準に「ダイバーシティ」を推進することは、様々な属性に捉われることなく、平等に機会が与えられることを意味します。大学での取り組みの場合、対象者は学生のみならず、職員も含まれます。マイノリティの立場に配慮した施策を全学的に行うことが求められます。

各務洋子

駒澤大学 学長

President of
Komazawa University
Kagami Yoko

Profile

駒澤大学学長 / グローバル・メディア・スタディーズ学部教授
1985年 国際基督教大学大学院行政学研究科経営学専攻修士課程修了。90年 Arizona State University, Thunderbird School of global management (USA) 修了(MIM)。97年 国際基督教大学大学院行政学研究科行政学専攻博士後期課程修了(博士(学術))。98年より駒澤大学 経営学部経営学科で教鞭を執る。2004年 駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部 設置準備室長。06年 グローバル・メディア・スタディーズ学部助教授、08年より同学部教授に就任。11年 駒澤大学マス・コミュニケーション研究所委員。13年 コロンビア大学ビジネススクール Visiting Scholar。17年 学校法人 駒澤大学理事 / 評議員・議長。19年 駒澤大学 学長補佐。専門は経営戦略論・グローバル経営論。経営学会他所属。



駒澤大学のオリジナリティである
仏教の教えと禅の精神

本学は1500年、江戸駿河台吉祥寺境内に設立された「学林」が起源となる、長い歴史と豊かな伝統を持つ大学です。駒澤大学の建学の理念を簡潔に表す言葉である「行学一如」は、自己形成を目指す「行」と学問研究である「学」が一体であるという意味を示します。その理念は、「信誠敬愛」として具体化されています。仏教の教えを信じ、自他の尊厳を認め合うこと、誠実に生きること、慈悲の心を持つことを意味します。

「コロナ禍を通して、私たちはコミュニケーションのデジタル化を目の当たりにしてきましたが、人と人との対面による「つながり」が相対的に希薄になつてきているように思われます。しかし、本学は仏教・禅の教えに基づき「慈悲の心で人とつながる」ことを大切にし、理想とする大学です。このような基本的な姿勢は常に堅持されるべきであると思います。今後、も進展するであろうデジタル化時代の展開を考える時、その可能性は飛躍的なものであると思います。

2017年に始動した長期ビジョン「駒澤2030」に基づき、「駒澤大学ブランドディング計画」を実行中です。コンセ

プトの一つとして、「自分の道を見つけて出すための、よりどころ」として、こころ・まなび・つながりを提供する」という言葉で表現しました。スローガンは、和文では「しなやかな、意思」。英文では「Learn Actively. Live Wisely.」と掲げています。仏教観を直接伝えているわけではないのですが、今の大学生の心に刺さる言葉を模索した結果です。しなやかで折れない竹のような主体性を持って勉学に励み、柔軟に生きていく心を育ててほしいという願いが込められています。

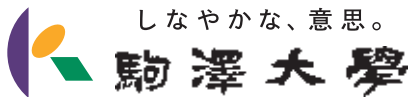
本学には坐禅堂や禅文化歴史博物館もあり、学生は1年次から全学共通科目の「仏教と人間」の授業を受けるなど、仏教や禅を身近に感じられる環境が整っています。

今、特にグローバル企業のビジネスシーンで禅(ZEN)や坐禅は注目され、集聚力を高めるための坐禅スペースを設けている企業も少なくありません。こうした本学の持つ唯一無二のオリジナリティを国際社会に発信し、本学の魅力を広く伝えたいと考えています。

本学で培った禅のこころと学びが、将来に生きる糧の一つとなるように、デジタル化とダイバーシティを融合させながら、その環境づくりに貢献していきたいと考えています。

- 1592 文禄元年 ● 江戸駿河台吉祥寺境内に「学林」設立
駒澤大学の前身である「学林」は、曹洞宗が禅の実践と
仏教の研究、そして漢学の振興を目的として設立
- 1657 明暦3年 ● 吉祥寺駒込に移転、中国の名僧・陳道榮が「旃檀林」と命名
- 1882 明治15年 ● 麻布区北日ヶ窪に校舎を新築して移転、
10月15日に校名を「曹洞宗大学林専門本校」とする
- 1905 明治38年 ● 校名を「曹洞宗大学」と改称
- 1913 大正2年 ● 大学を現在の駒沢(旧東京府荏原郡駒澤村)の地に移転
- 1925 大正14年 ● 大学令による大学として認可、「駒澤大学」と改称
- 1949 昭和24年 ● 学制改革により新制大学に移行、
仏教学部、文学部、商経学部の3学部で再スタート
- 1951 昭和26年 ● 学校法人令による学校法人駒澤大学に組織変更
- 1964 昭和39年 ● 法学部を開設
- 1966 昭和41年 ● 商経学部を経済学部に変更
- 1969 昭和44年 ● 経営学部を開設
- 1982 昭和57年 ● 開校100周年
- 1992 平成4年 ● 「学林」設立以来400年を迎える
- 2003 平成15年 ● 医療健康科学部を開設
- 2004 平成16年 ● 大学院法曹養成研究科(法科大学院)を開設
- 2006 平成18年 ● グローバル・メディア・スタディーズ学部を開設
- 2012 平成24年 ● 開校130周年
- 2013 平成25年 ● 駒沢移転100周年
- 2018 平成30年 ● 開校130周年記念棟「種月館」供用開始
- 2020 令和2年 ● 大学院仏教学研究科を開設

2022年 駒澤大学は開校140周年を迎えます



仏教学部／文学部／経済学部／法学部／経営学部／医療健康科学部／
グローバル・メディア・スタディーズ学部／大学院／法科大学院

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1
TEL.(03)3418-9828 FAX.(03)3418-9017

<https://www.komazawa-u.ac.jp/>

K O M A Z A W A
U N I V E R S I T Y

Link

Link(リンク)には「人と人との繋がり」「伝統を繋げる」
「地域と繋がる」という意味が込められています。